

透医第 2020047 号
令和 2 年 7 月 1 日

各 位

公益社団法人 日本透析医会

会 長 秋 澤 忠 男

透析医療の中長期的な在り方検討委員会

委員長 山 川 智 之



透析医療の自主機能評価指標の公開について（お願い）

謹 啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

超高齢社会を迎え、年々増え続ける社会保障費にあって、とりわけ医療費の増大による診療報酬の見直しなど、透析医療を取り巻く環境は厳しい状況となっている中で、客観的な医療の質の評価の公開が求められております。透析医療の質を確保する観点からも重要なことと考えております。

このような状況に鑑み、かつ、今後の日本の透析医療の中長期的な在り方を検討する中で、自律的に自らの医療の質を評価し公開することは、社会の要請に応える意味でも重要なことと考えており、このため平成 26 年 3 月に各自施設における機能評価指標の公開をお願いしたところであります。

今般、当評価指標の策定から 5 年が経過したことを踏まえ、別添「透析医療の自主機能評価指標（項目）」のとおり見直しを行いました。

当評価指標については、施設が自主的にホームページ等で公開することが前提で、内容については自己申告、かつ、項目単位で公開するかしないかは各施設の判断とします。また、日本透析医会の会員施設であるかどうかは問いません。

なお、公開方法の詳細については、別記のとおりとさせていただきます。

趣旨をご理解の上、ご協力いただければ幸いです。

謹 白

【別記】

自主機能評価指標の公開方法

- 公開項目は、別添のとおりとし、公開の際には、「日本透析医会の透析医療の自主機能評価指標に基づく」と付記をお願いします。
- それぞれの項目について公表するかどうかは任意とします。
- 公開項目以外の項目を公表する場合は、日本透析医会の自主機能評価指標でないことがわかるように区別して公開してください。
- いつの時点でのデータなのか明記ください。項目毎に異なる場合は、それも明記してください。
- 公開した場合は、その時点で日本透析医会に公開した旨を E-mail にてお知らせください。

メールの題名は、「透析医療の自主機能評価指標公開について」としてください。

本文には次の事項をご記載ください。

- ・ 施設名
 - ・ 公開データの責任者
 - ・ 連絡先（E-mail、電話番号、FAX 番号）
 - ・ 公開 URL アドレス
- 公開内容については、日本透析医会から問い合わせ、確認等をする場合があります。
 - 明らかに虚偽の内容であった場合は、その内容について日本透析医会ホームページに告知する場合があります。
 - この指標に基づく公開は、日本透析医会会員施設かどうかは問いませんが、非会員施設であっても公開する場合は、日本透析医会にご連絡ください。
 - 公開した施設につきましては、当会ホームページにその施設名のみを掲載させていただきます。
 - 不明な点があれば、日本透析医会事務局に E-mail でお問い合わせください。

日本透析医会 E-mail アドレス : info@touseki-ikai.or.jp

透析医療の自主機能評価指標(項目:案)について

評価指標項目	
I. 施設の状況	
1. 施設の設備	
① 施設の種別	病院・有床診療所・無床診療所
② (有床の場合)病床数	〇〇床
③ ペーシエントステーション台数(透析ベッド数)	〇〇台
2. 施設の機能	
① 準夜透析の可否(21時以降終了)	可・一部曜日可・不可
② (可の場合)透析室の終了時間(通常時の最終透析回収時間)	〇〇時
③ オーバーナイト透析の可否(日をまたがる透析で6時間透析以上)	可・不可
④ 在宅血液透析の可否	可・不可
⑤ オンラインHDFの可否	可・不可
⑥ シェント手術の可否	可・グループ施設で可・不可
⑦ PTAの可否	可・グループ施設で可・不可
⑧ 障害者自立支援医療機関かどうか	自立支援医療機関である・ではない
⑨ 処方区分(院内処方・院外処方)	院内処方・院外処方・一部院外処方
⑩ 腎代替療法実績加算の有無	ある・ない
⑪ 下肢末梢動脈疾患指導管理加算の有無	ある・ない
3. 医療スタッフの状況	
① 透析に関わる医師数	常勤:〇〇人 非常勤(週1回以上勤務):〇〇人
② 透析医学会会員の医師数	〇〇人
③ 透析専門医の人数	〇〇人
④ 透析技術認定士の人数	〇〇人
⑤ 透析に関わる看護師数	常勤:〇〇人 非常勤(週1回以上勤務):〇〇人
⑥ 腎不全看護認定看護師の人数	〇〇人
⑦ 慢性腎臓病療養指導看護師の人数	〇〇人
⑧ 透析に関わる臨床工学技士数	常勤:〇〇人 非常勤(週1回以上勤務):〇〇人
⑨ 血液浄化専門臨床工学技士の人数	〇〇人
⑩ 認定血液浄化臨床工学技士の人数	〇〇人
⑪ 透析に関わるメディカルソーシャルワーカーの人数	常勤:〇〇人 非常勤(週1回以上勤務):〇〇人
⑫ 管理栄養士の人数	常勤:〇〇人 非常勤(週1回以上勤務):〇〇人
II. 患者の状況	
① 外来HD患者数	〇〇人
② 外来PD患者数	〇〇人
③ 外来透析患者に対する後期高齢者患者の比率	〇〇%
III. 治療指標(外来HD患者対象)	
① 腎性貧血管理(Hb 10.0g/dl以上の比率)	〇〇%
② P管理(P 6.0mg/dl以下の比率)	〇〇%
③ PTH管理(iPTH 240pg/ml以下、あるいはwhole PTH150pg/ml以下の比率)	〇〇%
④ 透析時間(4時間以上の患者の比率)	〇〇%
⑤ 透析時間(5時間以上の患者の比率)	〇〇%
⑥ 透析時間(6時間以上の患者の比率)	〇〇%
⑦ 透析量(Kt/V 1.2以上の比率)	〇〇%